


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立高島特別支援学校		知的障害	基	通学区域	板橋区全域、練馬区・豊島区の一部
	着実な教育活動の展開により児童・生徒の確かな成長を図る				進路実績	学区内の特別支援学校高等部に進学
基	所在地	〒 175-0082 板橋区高島平三丁目7番2号	電話番号 03-3938-0415	本	教育課程の特徴	① 小・中で一貫したキャリア教育の推進
	アクセス	(1) 都営地下鉄三田線新高島平駅下車徒歩10分 (2) 東武東上線成増駅北口下車国際興業バス高島平操車場行(約15分)高島高校下車 (3)				② 障害特性に応じた教育内容・指導方法の充実
本	設置学部	小学部、中学部		情	副籍実施状況	③ 個別指導を充実するための教材開発と環境づくり
	幼児・児童生徒数	265名(小学部165名、中学部100名)				④ 一人通学指導の推進
報	学級数	55学級(小学部35学級、中学部20学級)		報	学校評価	⑤ 外部専門員の活用による専門性の向上
	スクールバス	大型7台(板橋特別支援学校と共同運行)				・回答率(保護者91.2%、児童・生徒98.9%) ・保護者満足度:窓口対応95%、連絡帳等情報共有93%、楽しい学校91%
その他				ホームページ	http://www.takashima-sh.metro.tokyo.jp	

目指す学校 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、地域と共に歩む学校①個に応じた教育を推進する②専門性の向上を推進する③特別支援教育のセンター的役割を果たす④安全で快適な環境と配慮の整備⑤保護者との連携を大切に⑥地域社会との信頼関係を高める⑦変化・進展する社会に対応した特別支援教育を推進する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	専門性の向上・授業力向上 ・「100円プロジェクト」による教材・教具の制作と活用。校内展示会、実践報告会等による研究・研修内容の発信。アセスメントに基づく実態把握と指導方法の研修実施。 ・外部専門員の組織的活用及び指導力の向上。 ・芸術系大学との連携による芸術教育の推進	○全児童・生徒にアセスメントを実施し、個々の実態に即した指導を行った。作成した教材は保護者や地域の幼稚園、保育所、療育機関、小学校等に公開し好評を得た。○外部専門員による指導・助言をのべ300ケース以上実施し教員の指導力向上に寄与した。○8月後半の教材展示会、2月2日の実践報告会において、本校の研究活動を公開した。それらをまとめ研究紀要を作成し、関係機関に配布した。○東京藝術大学による助言を受け、図工・美術の授業改善を行った。総合文化祭、公立学校美術展覧会に出展し成果を発表した。	
目標②	防災教育・安全教育の充実 ・新築校舎や校庭の避難経路の見直し。 ・様々な状況に応じた避難訓練の実施。 ・地域住民や関連機関との連携による宿泊防災訓練の実施。 ・「一人通学マニュアル」に基づき、PDCAサイクルに則った一人通学の推進。	○避難経路を見直し防災教育推進委員会委員の助言を受けながら避難訓練を実施した。○荒川決壊を想定した訓練を新規に実施した。○地域や高校と連携した宿泊防災訓練を9月22日、23日に実施した。○校内にある防災機器等の取扱についての教職員向け実地訓練を行った。○板橋区との福祉避難所に関する協定の改訂を1月22日に行った。○中学部を中心に一人通学練習に取り組む生徒が増加した。(25名)将来を見据えたキャリア教育の重要性が教員、保護者ともに向上した。	
目標③	特別支援教育におけるセンター的機能の推進 ・「副籍の日」を設置し地域や保護者へ理解推進講演会実施。 ・地域の主任児童(民生)委員と連携した交流活動による副籍制度の充実。 ・就学前体験の実施による理解啓発、就学支援。 ・幼・保・小・中へへの特別支援教育に関する指導・助言	○副籍実施件数は直接交流58名、間接交流28名、合計86名が実施した。(小学部76名、中学部10名)副籍に対する理解啓発を狙い、副籍講演会、副籍懇談会を実施した。主任児童員の同行により直接交流における活動が充実した。○就学前体験「ここにこひろばたかしま」を4回実施した。土曜日などの学校休業日に開催し、延べ79名が参加した。(昨年度2.1倍)次年度の適正就学を促進した。○幼稚園・保育園への巡回相談を実施した。小学校や中学校からの支援要請が増加し対応した。児童・生徒への障害理解啓発学習(出前授業)を実施した。次年度は入学予定者が小1は55名、中1は31名となり、合計で約30名の児童・生徒増となる。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	外部専門員の活用(来校回数)					100	96	150	159	170	170	170
目標②	一人通学の実施	15	16	15	15	15	18	15	25	25	25	25
目標③	副籍交流の実施	70	94	75	97	85	98	100	86	90	90	90



東京都立高島特別支援学校



学校教育目標

「健康で明るい子」
 「意欲をもってがんばる子」
 「みんなと仲良くできる子」

目指す学校像

- 1 個に応じた教育を推進する学校
- 2 専門性の向上を推進する学校
- 3 特別支援教育のセンター的役割を果たす学校
- 4 安全で快適な配慮のいき届いた学校
- 5 保護者との連携を大切にする学校
- 6 地域社会との信頼関係を高める学校
- 7 変化・進展する社会に対応した特別支援教育を推進する学校

今年度の取組目標

学習活動

・個別指導計画の充実 ・教科等を合わせた指導の充実 ・個別課題の充実・社会性の学習 ・アセスメントの実施 ・学校生活支援ファイルの活用 ・外部専門員の活用 ・オリパラ教育の推進 ・芸術教育の推進 ・新学習指導要領

生活指導

・学校での「係活動」、自宅での「お手伝い」の推進 ・一人通学指導の推進 ・安全指導、防災教育の充実



進路指導

・キャリア教育の視点 ・自立と社会参加を目指した指導 ・卒業後の進路を意識した指導



特別活動

・新しい体育館や校庭を使用した安全かつ円滑な行事の実施 ・意欲的に参加できる行事の工夫



健康・体力づくり

・保護者と連携した児童・生徒の健康情報の共有 ・食育、健康教育の推進 ・体力向上の取組の推進



研究・研修

・人権尊重教育の推進 ・高等部校等との連携強化 ・教材、教具の制作と集積の推進 ・アセスメントに基づく指導、授業改善 ・外部専門員の効果的な活用 ・将来の地域生活のあり方 ・保健、進路等に関する研修 ・外部発信

学校運営

・組織的運営の推進 ・効率的な会議運営 ・個人情報紛失事故防止の徹底 ・いじめの未然防止、早期対応 ・体罰、暴言、不適切な指導の根絶 ・学校評価アンケートの活用 ・サービスの厳正 ・「地域防災協定」の見直し

特別支援教育のセンター的機能

・副籍交流の推進 ・在籍者への支援の充実 ・丁寧な就学、転学相談 ・幼保小中、学童等への支援の充実 ・関連機関との連携 ・就学前体験会の実施 ・保護者支援 ・家庭生活、地域生活への支援



新体育館棟
平成29年3月竣工

